

琉球大学農学部亜熱帯地域農学科波平知幸先生の指導のもと、本校で飼育している山羊の糞便に含まれる寄生虫卵の検査方法や意義について指導を受けてきました。生徒たちの興味・関心は最高潮でした！！



実験の前に糞便検査の方法や意義について確認し、目的を認識させます。



糞便を計量しているところです。実験用と対象用の2つを用紙します。



量は0.1g単位で統一させるため丁寧にを行います。



飽和シヨ糖液を作成しているところです！



顕微鏡で糞便中に含まれる寄生虫卵を数えます！



実験後には成果の確認と山羊の飼育についての質疑応答等も行いました！



ひとつひとつ丁寧にを行うことで、正確な結果を出すことができるため、生徒も真剣！